

「脳卒中患者における経腸栄養による下痢の発生状況 に関する研究」のお知らせ

脳卒中の急性期の患者さんは、意識障害や嚥下障害のために、食べ物を口から食べられない場合が多く、その場合は、鼻などから管を通して腸に消化の良い食べ物を入れる経腸栄養が行われます。経腸栄養は、こうした患者さんの体力を回復させ、治療を進めて行くための効果的な方法ですが、経腸栄養で栄養管理を行っている患者さんでは、腹痛・腹部膨満・嘔吐・下痢等の消化器関連の合併症を起こすことがあり、その中でも下痢は発生頻度の高い症状です。下痢が続くと、栄養吸収不良、脱水、皮膚の異常や電解質異常などを引き起こすこともあります。そこで、私達は、脳卒中の急性期で経腸栄養を開始した患者さんについて、下痢症状の発生とその考えられる要因について調べ、下痢の発生を予防する対策の検討を実施し、将来的には、排便コントロールの方法の作成を目指します。

そのため、2022 年 8 月以降に当院脳卒中センターで治療を受けられた脳卒中急性期の患者さん、約 50 名の診療記録や、診療および検査データを、個人情報をも匿名化して検討して行きます。

本研究は、脳卒中の患者さんに対する診療技術の向上につながり、下痢の発生を減らすことで患者さんにとっても大きなメリットがあると考えられます。

この検討は、すでに記録されたデータを調べるものであり、患者さんに新たに、本研究を目的とした検査や治療を行うことはありません。また、当院の個人情報保護規定に則して、患者さんのお名前、住所などの個人情報は、外部に漏れないよう厳格に管理されます。そうした配慮の上で、本研究の結果は、医学専門の学会や雑誌などで報告される可能性があります。

本研究に関する医学的データの利用に関しまして、不同意の意思がございましたら、下記連絡先までお申し出ください。なお、データの活用を拒否された場合でも、それによって診療上不利になることは一切ありません。

また、この件に関しまして、ご質問等がございましたら、遠慮なくお尋ねください。

医療法人 社団美心会 黒沢病院
歯科・歯科口腔外科 河内 奈穂子

本件に関するご質問・お問い合わせ先：

月～土 9:00～17:00

担当者：歯科・歯科口腔外科 河内 奈穂子

連絡先：TEL: 027-352-1166